



共育に関する情報をお届けします。

The second lesson

第2回 商品(クッピーラムネ)を“つくる”とは？

2026年1月24日、老舗菓子メーカー・カクダイ製菓株式会社(愛知県名古屋市)と連携した共創型PBL (Project Based Learning) プログラムの第2回が開催されました。

前回のふりかえり

前回の最後に、
『お家の人やお友達に質問してね!』
と伝えていたので、
みんな聞いてきてくれました。

子どもたちに『作る』と『生み出す』の意味を考えて、
意見をだしてもらいました。

クッピーラムネは知ってるけど、会社の事は知らなかったという意見も。

クッピーラムネ知ってる?

授業の後半でもこの言葉について触れていきます。

どんな思い出がある?

ラムネをつぶして、
粉薬みたいにして食べていたという思い
出話もありました。

『作る』と『生み出す』は同じ??

『作る』はレシピなどがあるものを、
その通りに作る。
『生み出す』はゼロから新しいもの作
っていく。
等の意見が出てきました。

こんなところに注目したよ

- ★どんな作業があるのかな?
- ★大変そうなことは?
- ★どんな機械があるのかな?

後から、質問できるようにメモを取りながら動画で工場見学をしました。

バーチャル工場見学

メモしたことをフセンに書いていきます

みほさん↓

質問への回答からも、
作ることへの情熱が伝わって来ました。

AIを使って、自分たちが分かるように『生み出す』について調べました。

作るとは? 質問タイム

- ・一番大変な作業は?
 - ・何人くらい人が必要?
 - ・機械が壊れたらどうするの?
 - ・割れてしまったラムネはどうなるの?
- ↑他にもたくさんの質問が★

『生み出す』を調べる

どうやって質問したらAIがほしい答えをだしてくれるか、みんなで“プロンプト”を考えました。

どうしてこの質問をしたの? という事も子どもたちに確認していきます。

生み出すとは? 質問タイム

- ・失敗は何回くらいするの?
 - ・何人くらいでアイデアをだすの?
 - ・協力してくれる会社は怎么样って探すの?
- ↑他にもたくさんの質問がでていました★

授業を終えて・・・

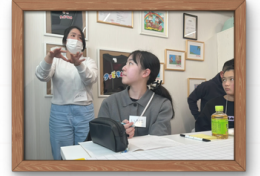
子どもたちの声

- ・失敗するのは自分が子どもでできないからなんだと思っていたが、大人もたくさん失敗していることがわかった。
- ・わたしたちが食べているラムネはとても軽いけど、この商品をつくるために、重いものを持ったり、大変な作業があることを知った。



担当者様の声

- ・自分たちがしている仕事を子どもたちが知ってくれて、共感してくれることが嬉しかった。
- ・どんな質問がくるのかドキドキした。子どもたちの真っすぐな目に一生懸命答えたいと思った。



Editor's note

今回の授業には2回目の参加となる子どもたちと、初めて参加する子どもたちがいます。特に運営側から子どもたちをお願いしたことはないのですが、2回目となる子どもたちは自然と自分たちが引っ張っていかなくては！という気持ちを持ってきていて、その気持ちが多く行動にみられました。前回は手を挙げるができなかったのに、手を挙げて一番に発表してくれたり、しっかりと自分の意見を伝えられるようになっていたり、やり方が分からず困っている子に優しく教えてくれたり。またその強い思いから、イメージしているように上手くいなくて、悔しくて泣けてしまったり。これも一人一人が持っている『特性』の違いが、それぞれ違う行動となって表れています。いつも子どもたちに、色々なことを私たちも教わっています。子どもたちのそれぞれ持っている特性を引き出し、共に成長できる時間をつくっていけるよう、これからも尽力していきます。



Today's goal

- ★『お菓子ができるまで』を知る。
- ★『新しい商品が生まれるまで』を知る。

第2回目の授業のゴールは左記でした。そして、今回の授業で学んだことを是非、ご家庭でも子どもたちに聞いてみてくださいね。次回以降の授業のポイントになる質問を、子どもたちに伝えています。ご協力いただけますと幸いです。

【質問】

- ①最近買ったお菓子は？
- ②どうしてそれを選んだの？

Next

第3回は『みんなが考える新しいクッピーラムネ』

今回のカクダイ製菓との共創PBL(問題解決型・主体的)授業は全5回を予定しています。次回は、商品ができる過程を学び、実際に作ることも知った子どもたちと共に、『こんなラムネがあったら?』『こんなお客様に商品を届けたい!』など一緒に新しい商品のアイデアを考えていきます。子どもたちの視点と大人たちの仕事への想いや情熱が、お互いにとっても良い刺激になっているのを感じています。まさしく共創の時間となっている現場が次回も楽しみです。

合同会社 Uni-One

所在地：愛知県名古屋千種区桜が丘119-110
代表：室園 幸志 (CEO)
事業内容：共育事業・企業支援事業・美容と癒し事業
🌐 <https://uni-one.co.jp>
✉ company@uni-one.co.jp ☎ 052-990-0152

お友達登録もお願いします(^^)

・思考とコミュニケーション・

